

II 研究の内容

1 授業研究部

実践 TME22 (Tamai Moral Education) シートを活用し、全職員でPDCAサイクルを意識した道徳授業実践と改善

Plan: 教材研究

「自分のこととして考える、他の人と考え、議論する授業」にむけて全教員が同じ視点で教材研究ができるよう共通のシート (Tamai Moral Education シート) で教材研究を行う。

T(Tamai) M(Moral) E(Education)22			
※最初に状況説明をして、簡単な流れを伝える (インクルーシブ教育の視点にたって)			
題材	命のタスキ	項目	D「生命の尊さ」
学年	1 2 3	I C T	有 無
写真(紙)	有 無	事前アンケート	有 無
アンケート内容 学校研究の全校生徒への質問として「心豊かな人」について12コの質問をした。(別紙)「私は自分のことを大切な人だと思う」という項目が低かった。学級のアンケートでは「親に対して感謝はしているものの、うとうとう感じている」と答えた生徒がおおかった。			
形態 (複数回答可) コの字 <input type="checkbox"/> グループ <input type="checkbox"/> ペア <input type="checkbox"/> その他 ()			
教具 (複数回答可) ハートメーター <input type="checkbox"/> 付箋 <input type="checkbox"/> タイマー <input type="checkbox"/> その他 (テレビ <input type="checkbox"/>			
発問内容	生徒の反応・感想		
①「好きであなたの娘に生まれてきたわけじゃないのよ。」といった智子の気持ち。	ハートメーターで表現。自分も言ってしまったことがある。(生徒発言)		
②鏡に映る自分の姿をみていて智子はどんな気持ちでいるのだろう。	つないでもらった命に感謝をしている。(生徒感想文)		
③自分の生まれてくるまでの過程を考えてみて、自分の今を見つめてみよう。	多くの家族のつないだ命を意識することができ、自分はかけがえない命をもらっているのだと思った。(生徒感想文)		
④			
⑤			
※発問内容に「もし自分だったらどうするか」を入れるようにする。(題材による)			
工夫したこと ハートメーターを使用し、視覚的にも仲間の心情をみることができるようにした。自分事である発問をした。ペアやグループで考え、多面的、多角的に考えられるようにした。			
改善点・今後に向けて 生徒が発問に対して反応した言葉を拾うことができない場面があった。その発言からもっとふくらますことができたと思う。生徒のちょっとした一言に耳を傾けていきたい。ペアとグループの形態が曖昧であったので事前の計画をもっとしっかりと進めていく。			

Action: 改善点、今後に向けて

研究協議から得られた改善点や今後の授業にむけての課題を記入し、次の授業につなげていくとともに、他の教員が授業する際に、よりよい授業づくりにおいて活用していく。

Do: 授業実践

1 「自分のこととして考える、他の人と考え、議論する授業」に向けた指導法の工夫

- 多様な指導方法を取り入れる
 - 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
 - 道徳的行為に関する体験的な学習
 - 問題解決的な学習

(2) 生徒の考えの「見える化」



ホワイトボードやハートメーターを活用して、生徒の心を見える化し、議論を深めていく。

(3) 授業形態の工夫



活動によって、4人組やペアなど人数を工夫したり、コの字型など隊形を工夫したりして、議論しやすくする。

2 道徳の授業を生活につなげる工夫 (道徳の見える化シート)

No.	道徳で学んだ内容項目	授業を受けて、気づいたこと 今後の決意!!	行動にうつせたこと!!	実行日
1	礼儀	呼びかけたら、聞かざる声で返事をする。	呼びかけたら返事をした。	5/21
2	個性の伸長	友達自身が思っている本人の欠点をいいことに変えてあげよう。		
3	よりよく生きる	この部活でよりいっしょと取り組む。	笑顔の部活をした。充実感があった。	6/9

生徒に「授業を受けて気づいたこと、今後の決意」など今後の行動宣言をさせ、道徳の実践へつなげさせる。行動にうつせたことがあれば、それを記入させ、教師は、大いに褒め、認め、励ましていく。

Check: 研究協議

「自分のこととして考える、他の人と考え、議論する授業」となっていたかを、実際の授業とTMEを基にしながら研究協議を行う。特に、課題や発問は適切であったか、議論する場面での形態は適切であったか協議する。

